

令和元年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」（本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。）

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革（これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強する良い学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。）
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：令和元年12月実施、教職員：令和2年2月実施]	学校評価委員会からの意見
<p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none">・ この学校の食堂の設備・料理・価格は満足のいくものである。（高校 肯定率 73.9%。昨年度より 12.7%増。）・ この学校の生徒会活動は盛んである。（高校 肯定率 63.3%。昨年度より 7.2%増。）・ この学校は、施設設備について、日常的に点検・補修を行ない適正に管理している。（高校 肯定率 82.8%。昨年度より 6.5%増。） <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none">・ この学校の給食は充実している。（中学 肯定率 45.4%。昨年度より 4.2%減。）・ 私には読書の習慣がある。（中学 肯定率 53.8%。昨年度より 4.2%減。）・ この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。（中学 肯定率 80.5%。昨年度より 4.1%減。） <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none">・ この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。（中学 肯定率 80.8%。昨年度より 14.6%増。高校 肯定率 82.2%。昨年度より 11.7%増。）・ この学校は、教科の進度や内容の公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている。（中学 肯定率 82.8%。昨年度より 9.1%増。）・ この学校は、生徒に自分の進路や生き方についてよく考えさせている。（中学 肯定率 77.2%。昨年度より 7.5%増。） <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none">・ この学校は活気があり、生徒が生き生きとしている。（高校 肯定率 74.7%。昨年度より 3.5%減。）・ 子供は、この学校が楽しいと言っている。（高校 肯定率 71.8%。昨年度より 3.3%減。）・ この学校の生活指導の方針は適切であり、効果をあげている。（高校 肯定率 72.9%。昨年度より 3.0%減。）	<p>令和2年5月15日に学校評価委員会を開催。</p> <p>中学保護者では、27項目中23項目で前年度より肯定評価が増加し、肯定率90%以上の項目が13項目であった。一方で、中学生徒では、35項目中21項目で前年度より肯定評価が減少している。高校生徒では、35項目中21項目で前年度より肯定評価が増加した。一方で、高校保護者で前年度より肯定評価が増加したのは26項目中9項目のみであり、肯定率90%以上の項目も5項目のみであった。中学・高校とも、生徒・保護者の双方から肯定評価が得られる取り組みが求められる。</p> <p>高校生の食堂についての肯定率は大きく上がったが、中学生の給食についての肯定率は依然として50%に届かない。生徒や保護者の意見を聞きメニューを改善することも必要であるが、学校給食の意義について生徒側の根本的な理解が不足していることにも原因があると思われる。家庭科や道徳の時間などに給食について取り上げるなどの対策を講じたい。</p> <p>中学生の図書館利用や読書習慣の項目の肯定率が減少した。読書の重要性を生徒に伝え、読書習慣に結びつける取り組みを検討したい。</p> <p>非常時の緊急連絡体制の項目の肯定率が増加したのは、大地震や台風で交通機関が大きく乱れた一昨年度に肯定率が大きく減少したことが主な原因である。2年前と比較すると、中学で78.7%→80.8%で2.1%増、高校で85.6%→82.2%で3.4%減であり、それほど大きな変化とは言えない。「暴風警報発令および交通の乱れ等による授業措置について」を新たに策定し、従来よりも実態に合った対処になるように努めたことで肯定率は回復したが、迅速な生徒の安否確認など課題が残っている。必要に応じてさらに改善を加えたい。</p> <p>生徒や保護者の回収率がまだまだ低い。匿名性を保ちながらも回収率を高める方策を検討したい。</p>

<p>【教職員】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校では、問題行動の防止に向け、キャンペーンを張るなど早期指導を心がけている。(肯定率 57.6%。昨年度より 4.8%増) ・ 私は、懇談を通じて、生徒の学習状況や進路目標をつかむとともに、生徒の状況について保護者と共通認識を持っている。(肯定率 93.9%。昨年度より 3.7%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校では、特別支援が必要な生徒あるいは不登校の生徒に対しては、その実情をつかみ必要な対応がなされている。(肯定率 67.1%。昨年度より 14.6%減。) ・ 本校では、必要な教育課題での校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている。(肯定率 60.0%。昨年度より 12.4%減。) 	<p>中学教職員では人権侵害やいじめの防止について、高校教職員では特別支援が必要な生徒あるいは不登校の生徒への対応について、肯定評価が大きく減少した。担任が抱え込んだり過小評価したりしがちであるこうした問題を、学年の問題としてとらえて対処するよう改善を図りたい。</p> <p>教職員の研修についての肯定率が大きく下がっている。教職員に対しては毎年必要な研修を実施しているが、その要求が年々高まっており、学校としてもできる限りその要求に応えていく必要がある。</p>
---	---

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」の肯定率 90%以上 (生徒アンケート) イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」の肯定率 70%以上 (生徒アンケート)	ア 予備校講師を招いて入試問題分析会を実施したり、予備校の教員研修プログラムにも参加を呼びかけるなど、教員の指導力向上の機会を設けた。 イ 生徒に学習記録を付けさせ、それを保護者・担任がチェックする取り組みを継続的に行った。	ア 中学 肯定率 88.6%で 未達成 。昨年度より 0.1%減。 高校 肯定率 87.5%で 未達成 。昨年度より 0.2%増。 イ 中学 肯定率 60.4%で 未達成 。昨年度より 1.6%減。 高校 肯定率 71.0%で 達成 。昨年度より 4.7%増だが、まだまだ低い。	これまでの取り組みに加え、「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けを行う。 生徒の予習や復習が不可欠な授業になっているかどうかの点検を行う。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「H.R (道徳) の時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。」の肯定率 75%以上 (生徒アンケート)	ア ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章先生を招いての進路講演会や、高1生対象に卒業生が大学・学部・研究内容を紹介する「開明大学」などのイベントを行った。また、HR・総合の時間などで将来の進路や生き方について考えさせる取り組みを行った。	ア 中学 肯定率 68.9%で 未達成 。昨年度より 0.8%減。 高校 肯定率 69.9%で 未達成 。昨年度より 1.2%減。	これまでの取り組みに加え、「キャリア・パスポート」の取り組みを充実させる。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」の肯定率 80%以上 (教職員アンケート)	ア 年2回 (3学期は中止)、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いた。	ア 肯定率 78.8%で 未達成 。昨年度より 0.5%減。	研究授業に対して批判的な内容の意見が出しにくい会議の雰囲気があるため、議論が活発に行えるような工夫を検討する。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を学年主任・副主任に確認し、指導の統一性を図った。	ア 中学 肯定率 86.3%で 達成 。昨年度より 3.3%増。 高校 肯定率 85.2%で 達成 。昨年度より 4.8%増。	授業規律についての基本的な考え方を、さらに広い場面 (職員会議など) を通じて全教職員に徹底する。
	(2) 校則遵守	ア「私は、校則を守っている。」の肯定率 90%以上 (生徒アンケート)	ア 「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることの意味を生徒に伝えるよう努めた。	ア 中学 肯定率 85.6%で 未達成 。昨年度より 1.3%減。 高校 肯定率 87.1%で 未達成 。昨年度より 2.2%減。	「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることの意味を生徒に伝える機会をさらに増やす。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)	ア 毎学期、いじめアンケートを実施し、いじめの把握に努めた。また、いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努めた。	ア 中学 肯定率 80.6%で 未達成 。昨年度より 0.4%増。 高校 肯定率 82.2%で 未達成 。昨年度より 2.6%増。	これまでの取り組みを継続しつつ、道徳の時間も利用して、いじめに対する理解を深めさせる (特に中学1年生)。

3 行事・クラブ活動	<p>(1) 行事への積極的な参加</p> <p>(2) クラブ活動への自由な参加</p>	<p>ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)</p> <p>ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 80%以上 (生徒アンケート)</p>	<p>ア これまで文化祭とともに9月に実施していた高校体育大会を5月に実施するなど、一つひとつの行事の獲得目標を達成しやすいよう行事を分散させた。</p> <p>ア 「部活動に係る活動方針」を策定するなど、より多くの生徒がクラブ活動に参加できるよう態勢を整えた。</p>	<p>ア 中学 肯定率 80.3%で未達成。昨年度より 3.2%減。 高校 肯定率 73.3%で未達成。昨年度より 3.3%減。</p> <p>ア 中学 肯定率 81.3%で達成。昨年度より 2.4%増。 高校 肯定率 76.3%で未達成。昨年度より 1.3%減。</p>	<p>それぞれの行事がただ「やるだけ」に終わらないよう、その行事の意義や獲得目標を明確にし、教員間で共有する。</p> <p>クラブ活動が生徒の負担にならないよう、本校独自の「クラブ活動基準」の徹底を図る。</p>
4 施設・設備	<p>(1) 新設備のフル活用</p>	<p>ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」の肯定率 90%以上 (保護者アンケート)</p> <p>イ「この学校の給食は充実している」の肯定率 50%以上 (中学生徒アンケート)</p>	<p>ア 地下温水プールの稼働率のアップ、オンライン英会話のパソコン教室での実施、教室での電子黒板の日常的な利用など、新設備を活用した。</p> <p>イ 年1回、保護者対象の給食体験会を実施した。また、生徒や保護者の意見をよく聞き、給食業者とも相談して改善を図った。</p>	<p>ア 中学 肯定率 93.4%で達成。昨年度より 0.5%減。 高校 肯定率 92.3%で達成。昨年度より 1.1%減。</p> <p>イ 中学 肯定率 45.4%で未達成。昨年度より 4.2%減。</p>	<p>電子黒板のさらなる利用を促す。</p> <p>これまでの取り組みに加え、学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作る。</p>